

令和4年度（第4回）糸田町地域公共交通会議

開催日時：令和5年1月30日(月) 13:50～15:30

開催場所：住民センター2階 第2,3研修室

会 次 第

■糸田町地域公共交通協議会

	所属	役職	氏名
(1)糸田町長又はその指名するもの	土木課	課長	加治 昭生
(2)一般乗合旅客自動車運送事業者	田川構内自動車(株)	総務部長	長井 智章
	西鉄バス筑豊(株)田川支社	支社長	田口 勝啓
(3)鉄道事業者	平成筑豊鉄道(株)	代表取締役社長	河合 賢一
(4)住民又は利用者代表	糸田町行政区町会	会長	梶田 哲也
	PTA	会長	白銀 将道(欠席)
	老人クラブ連合会	副会長	森 和子
	交通安全協会糸田支部	支部長	廣末 豊子
(5)九州運輸局福岡市局長又はその指名するもの	九州運輸局福岡運輸支局	支局長	久世 和彦 (代理:西脇 考志)
(6)一般旅客自動車運送事業者の組織する団体	福岡県バス協会	事務理事	中川原 達也(欠席)
	福岡県筑豊地区タクシー協会	会長	嘉久 礼子
	福岡県交通運輸産業労働組合協議会 (西鉄グループバス労働組合)	副執行委員長	熊本 正志
(8)学識経験者	福岡県立大学	准教授	寺島 正博(欠席)
(9)町内の道路管理者又はその指名するもの	福岡県田川県土整備事務所 用地課	管理係長	淵上 大輔
(10)福岡県田川警察署の代表者又はその指名するもの	田川警察署 交通課交通総務課係	係長	田中 一実
(11)糸田町商工会の代表者又はその指名するもの	糸田町商工会	会長	田代 裕(欠席)
(12)糸田町社会福祉協議会の代表者又はその指名するもの	社会福祉協議会	会長	石川 謙一
事務局	地域振興課	課長	木村 成伸
	地域振興課	課長補佐	松岡 俊輔
	地域振興課	主事	原 美貴子

1. 開 会

2. 会長挨拶

皆様方もご承知の通り、今年 9 月には西鉄バスの廃止が予定されており、糸田町の公共交通にとって大きな 1 年度なるであろう。

本日の会議では計画の素案が示されており、具体的な話や、初めて耳にする言葉が並んでいるかと思う。本日も丁寧な議事進行に努めていきたい。このような計画は、「漏れがなく、無駄がない」ことが重要である。漏れがあると、漏れた部分の住民の足が大変になってしまう。一方、糸田町も厳しい財政の中で公共交通を維持しているため、無駄を省くことも重要である。

先週は大雪が降り、皆様も苦勞されたかと思うが、関西圏では交通網が止まった地域もあった。このことからわかるように、交通は電気や水道と同じく「当たり前」の仕事の典型であり、何かが起きて初めて大変な目に遭うものである。本会議では、そのようなことが起きる前に、皆様としっかり議論をさせていただければと思う。

3. 議 事

(1)糸田町地域公共交通計画 素案 資料 ①-1

糸田町地域公共交通計画 素案【概要版】 資料 ①-2

- ・目標値については、一般的な数値の開示がないため、適正かどうかの判断が難しい。実績から求められた数値でないと判断ができない。
 - 確かにわかりづらい部分はあるかと思う。事務局で目標設定する際にも、実績がない関係上、似通った項目の数値の設定をしている部分はある。実際に運行していく中で数値は変化していくと見られるため、その都度見直していきたいと考えている。
- ・町民のための公共交通であり、町民に利用してもらうことが重要と考えている。糸田町独自の考えがあってもよいが、他自治体のデータはないのか。例えば、他自治体の成功事例を引用してもよいのではないか。
 - 既に周辺自治体の取組情報等は情報収集しており、近隣自治体で問題が起きた場合には糸田町で同様の問題が発生しないよう検討を行ったりしてい

る。

- ・予約方法等については、町民へ広く周知していけるのか。

→ 実証運行は10月から予定をしている。これから計画のパブリックコメントを行い3月に計画を確定させ、その後半年かけて具体的なやり方を検討していく予定である。各地区での説明だけでなく、福祉バス利用者の周知や利用者が多く訪れる役場に相談コーナーを作るなどして対応したい。周知方法についても今後も検討するとともに、利用者の口コミも含め広げていきたい。

- ・福祉バスについては、現在無料で運行しているものを見直すということか。

→ 福祉バスは当面無料のまま運行することを想定している。いつまで運行するかという点については、福祉部局にも連携してくるため、この場で判断することは考えていない。今後何らかの変更をすることも、経過措置を取り、新しい交通を使っただけのようにしていきたい。

(2)パブリックコメントの実施について **資料 ②**

- ・記入例を挙げてはどうか。

→ パブリックコメントは本計画(案)に対して意見があるかを聞くことが目的である。具体的な例を挙げてしまうと、そちらに誘導することにもなりかねない。誘導しない内容で検討する。

- ・意見募集を行うにしても、これだけでは難しい。各地区を回り、意見を聴いていくのが良いのではないか。

→ 本協議会も引き続き開催してくため、実証運行を重ねていく中で意見を聞き、改善していくことが重要と感じている。地域の意見を聞く場は重要であると感じているため、今後は生の声を聞き、やり方に反映・改善していきたい。

(3)今後のスケジュール

→ 異議なし。